

## ユーザーインターフェースのカスタマイズ

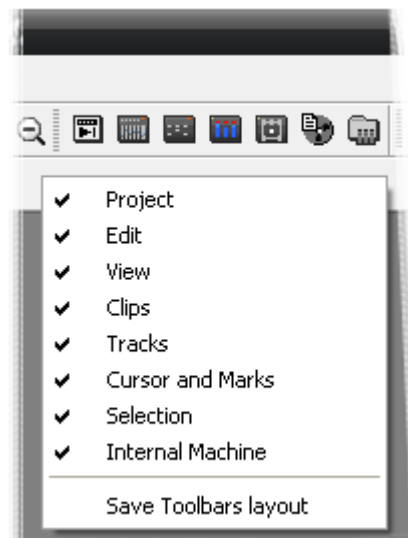
Pyramixでは、アプリケーション上の様々なユーザーインターフェースをカスタマイズすることができます。

**Desktop Layout** , **TimeLine Layout** , **Track Headers Layout**のカスタマイズは、**Settings > All Settings > Application**の各ページにて設定が行えます。

## ツールバーとメニュー

Pyramixのツールバーおよびメニュー表示もカスタマイズすることができます。  
詳細は**Desktop Layout**のページを参照してください。

ツールバーが表示されているブランク部分で右クリックすると、下図のメニューがポップアップします。



任意のツールバーの名前をクリックすると表示/非表示を切り替えることができます。

アレンジしたレイアウト設定は、**Save Toolbars Layout**をクリックすることで保存されます。

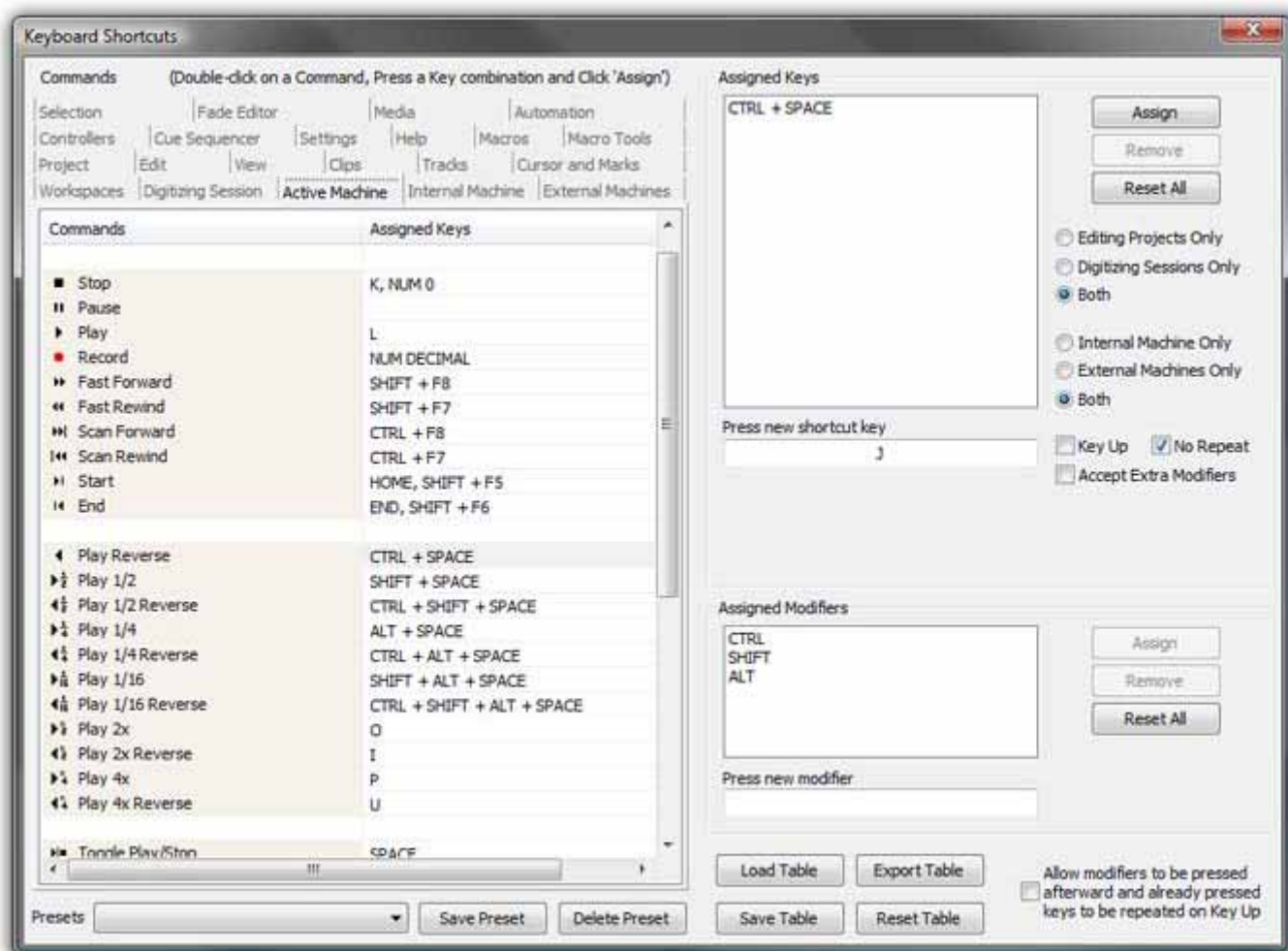
## キーボード・ショートカットのカスタマイズ

キーボード・ショートカットを使用することで、Pyramixの編集やトランスポートなどを効率的に操作することができます。また、コマンドを別のショートカットで覚えている場合には、ユーザー定義でキーボード・ショートカットのカスタマイズを行ってプリセット情報として保存しておくことも可能です。

**Presets**のドロップダウンメニューには、キーボード・ショートカットの各種テンプレートも用意されています。

新しくキーボード・ショートカットを定義する手順は以下の通りです：

1. **Settings > Keyboard Shortcuts**メニューを選択して**Keyboard Shortcuts**画面を開きます。



2. 左側のタブ画面には利用可能なコマンド機能がグループ別に格納されています。タブをクリックして表示を切り替えながら、キーボード・ショートカットに追加したいコマンド機能を探してください。
3. コマンド機能をクリック選択してハイライトさせます。
4. 右側の**Press new shortcut key**のボックスをクリックすると、ボックス内で入力カーソルが点滅します。
5. 割り当てたいキーボード・ショートカットキーを押します。装飾キー（**Ctrl**、**Shift**、**Alt**キーなど）とのコンビネーションも割り当てることが可能です。押したキーの情報が**Press new shortcut key**のボックスに反映されます。

6. **Assign**ボタンをクリックします。  
入力したキーボード・ショートカットキーが既に他のコマンドに割当たっている場合は警告が表示されます。（Yes=新規に割り当てる、No=重複させて割り当てる、Cancel=別のキーをもう一度探す）
7. 手順2.~6.を繰り返して、キーボード・ショートカットキーを自由にカスタマイズしてください。
8. カスタマイズを行ったキーボード・ショートカットキーは、プリセット情報として保存できます。  
保存するには**Save Preset**ボタンをクリックして、プリセットの名前を付けてください。  
保存したプリセットは、**Presets**のドロップダウンメニューから呼び出すことができます。
9. また、**Save Table**ボタンを使用するとプリセット情報をPC上にファイル情報（\*.pmk）として保存することができます。保存したファイルは、**Load Table**ボタンで呼び出せます。

ファイル情報として保存した場合は、同じシステムを使用する他のユーザーから安易にプリセット情報を変更されてしまう事故を防げるほか、他のPyramixシステムへ\*.pmkファイルをコピーして使用することもできます。

10. さらに、**Export Table**ボタンを使用するとプリセット情報をPC上にテキスト情報（\*.rtf）としてエクスポートすることができます。エクスポートした\*.rtfファイルは、ガイドとしてプリントアウトするなどして活用できます。

**例:** 多くのユーザーの方が **J / K / L** キーを、それぞれ**Active Machine**の**Reverse Play / Stop / Play**コマンドのショートカットにアサインして使用されています。

この場合のアサイン手順は以下の通りです：

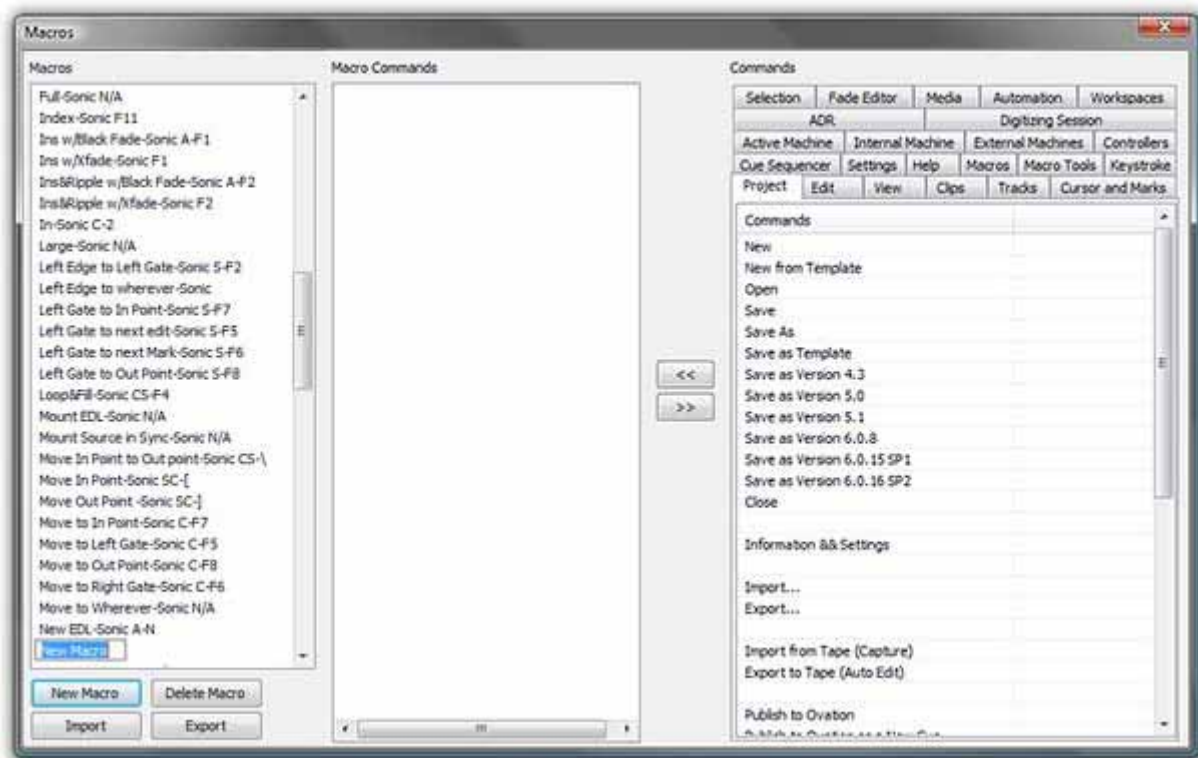
1. **Settings > Keyboard Shortcut Editor** または **View > Customize > Keyboard Shortcut Editor**メニューを選択します。
2. **Active Machine**タブを選択します。
3. **Play Reverse**コマンドをクリック選択します。
4. 右側の**Press new shortcut key**のボックスをクリック（またはコマンド機能をダブルクリック）すると、ボックス内で入力カーソルが点滅します。
5. キーボードの **J** をタイプします。
6. **Assign**ボタンをクリックします。
7. **Stop**コマンドをクリック選択します。
8. 右側の**Press new shortcut key**のボックスをクリックして、手順5.で入力した**J**をダブルクリックしてハイライトさせます。
9. キーボードの **K** をタイプします。（**J**が上書きされます）
10. **Assign**ボタンをクリックします。
11. 手順7.~10.を繰り返して、**Play**コマンドにキーボードの **L** を割り当てます。
12. **Save Preset**ボタンをクリックすると、名前を付け新しいプリセットとして保存できます。  
ドロップダウンメニューから既存のプリセットを選択した場合は上書きされます。

## ユーザーマクロの定義

マクロ機能は、コマンドのシーケンスをキーボードに割り当てて使用することができます。マクロを有効に活用することでさらに効率的な作業を行うことが可能です。

新しくマクロを定義する手順は以下の通りです：

1. **Settings > Macro Editor**メニューを選択して**Macros**画面を開きます。



2. **New Macro**ボタンをクリックして、マクロの名前を入力します。
3. 右側のタブ画面には利用可能なコマンド機能がグループ別に格納されています。タブをクリックして表示を切り替えながら、マクロに加えたいコマンド機能を探してください。
4. コマンド機能をクリック選択してハイライトさせます。
5. <<ボタンをクリック（またはコマンド機能をダブルクリック）するとマクロが追加されます。
6. 手順3.～5.を繰り返し、マクロとして定義したいコマンド・シーケンスを完成させてください。

新しく作成したマクロは、**Keyboard Shortcuts**画面の**Macro**タブに表示され、キーボード・ショートカットに割り当てることが可能です。手順の詳細は、前頁のキーボード・ショートカットのカスタマイズを参照してください。

**Note:** マクロのシーケンスには、キーボードの**Enter** , **Shift** , **Tab** , **ESC** , **スペースバー** , **矢印キー**の情報も使用できます。